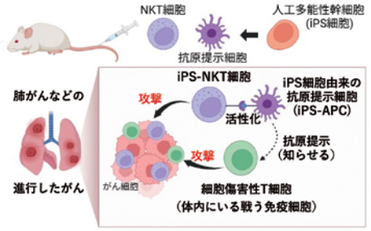
## Support Us

**皆様のご寄附が力になります。医療の未来を、ともに創りましょう。**

### 千葉大みらい医療基金はご寄附を活用し、若手研究者を支援しています。

2025年度に支援を行った呼吸器外科の清水大貴医師の研究室では、肺がんや膵がんなど難治性の固形がんを対象とした研究で、iPS細胞からがんを見つけて免疫細胞に知らせる細胞（抗原提示細胞）と、抗がん作用を有する免疫細胞（NKT細胞）の2種類を作り、それらを組み合わせてがんを攻撃する新しい治療の開発に取り組んでいます。これまで免疫療法が効きにくかった患者さんにも治療のチャンスが広がり、iPS細胞から作った「ストックできる細胞薬」として、必要なときにすぐ投与できる未来が期待されます。



呼吸器外科
清水大貴

**「私たちの研究にご支援いただき、ありがとうございます」**

私は日々、がん患者さんと向き合う中で「今の治療では救えない方に新しい治療の選択肢を届けたい」という思いを強くしてきました。皆さまのご寄付は、研究を前に進める原動力そのものです。温かいご支援に、改めて深く感謝申し上げます。

---

**〈千葉大みらい医療基金とは〉**

当基金にご寄附いただく方々は、ともに未来の医療を創造するパートナーです。皆さまの想いは当基金を通じて研究者に届けられ、その研究成果は新しい治療法や薬などの形となって、未来の患者さんに届けられます。ぜひ、ご支援ください。

**税制上の優遇があります（税負担を抑えながら社会貢献が可能です）**

□ 個人の場合：所得控除の対象となります。　□ 法人の場合：寄附金額は全額損金算入が可能です。

所得控除の軽減額（目安）は千葉大みらい医療基金のホームページでご確認ください

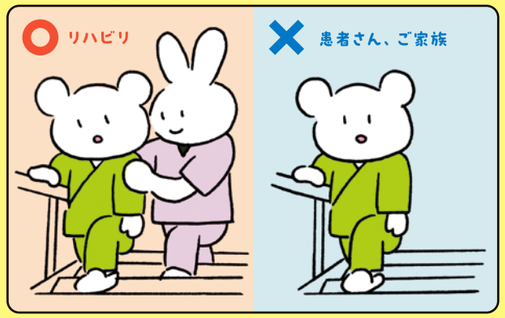
▶ https://www.mirai-fund.chiba-u.jp/method/simulator.html

## cover 今号の表紙

### 支え合いながら成長中！

新人の頃はわからないことも多く、不安を感じることもあります。そんなとき、気軽に先輩に相談できる環境が大きな支えに。大学病院ではさまざまな症例に触れるため大変なこともありますが、先輩や仲間と支え合いながら日々成長を実感できる環境で働くことができます。患者さんの身近な存在として、寄り添う看護をこれからも大切にしていきたいです。

## message




### 階段は原則使用できません

患者さん・ご家族の皆さまの安全のため、院内の階段は原則として使用できません。階段の利用は、リハビリなどで医療スタッフが付き添う場合に限られます。安全対策の一環として、階段には「スタッフオンリー」の表示を設置するなど、院内で安心して過ごしていただくための取り組みを行っています。皆さまの安全のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

［発行］千葉大学医学部附属病院
〒260-8677 千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1
TEL：043-222-7171（代表）　Mail：byoin-koho@chiba-u.jp

千葉大学病院ホームページ
https://www.ho.chiba-u.ac.jp/
※バックナンバーをご覧いただけます

printed with CARBON ZERO ENERGY SUSTAINABLE PRINTING ASSOCIATION OF JAPAN
SPA-230001-J
この印刷物は、Scope1,2のGHG排出量が実質ゼロで稼働するカーボンゼロエネルギー工場で印刷しています。

本誌に掲載されている内容の無断転載、転用および複製等の行為はご遠慮ください。



TAKE FREE
ご自由にお取りください

いのはなハーモニー

# Harmony

77
2026.MAY.

特　集　チームのチカラ　／　CLOSE-UP　漢方診療

新生児を抱く助産師（詳細は裏表紙へ）

千葉大学病院
CHIBA UNIVERSITY HOSPITAL

NURSE×NURSE AIDE

特集

# チームのチカラ

## 看護師 × 看護補助者

看護師・
看護補助者間での
情報共有

ストレッチャーの整備

一緒に食事の配膳

現場をまとめる
**副看護師長**

よい看護を提供するうえで、看護補助者の存在は欠かせません。声をかけ合うこと、連携することの大切さを、日々実感しています。

NURSE×NURSE AIDE

他部署との連絡や調整

看護師の
病棟の巡回

清潔ケアの準備

移動の介助

## 患者さんが安心して療養できる環境を、看護師と看護補助者が協力して作っています！

患者さんにとって、看護師は医療者の中で最も近い存在かもしれませんが、その看護師を最も近くで支えているのが、看護補助者です。ナースエイド、ナースアシスタントなどとも呼ばれ、看護チームの一員として患者さんの療養生活を支えています。

たとえば、患者さんの身体を拭いたり、身の回りや生活の環境を整えたり、寝返りが難しい患者さんの体の向きを変える体位交換、配膳・下膳の手伝い、検査や治療に向かう患者さんの搬送や移動介助など、文字どおり、看護を補助する仕事をしています。

患者さんに寄り添う看護補助者のサポートがあるからこそ、看護師はより専門性の高い仕事に注力することができます。ともに力を合わせることで、大学病院ならではの高度な医療を受ける患者さんの多様なニーズに対応し、安心して療養できる環境を作っています。

### 現場の声

実際に働くスタッフに看護チームについて聞いてみました

看護補助者がいることで、カンファレンスに参加する機会が増え、看護業務に集中できるので、深く患者さんのことを考えられます！

現場で働く
**看護師**

看護師と協働することで患者さんの状態が分かり、一人ひとりに合わせた声かけや配慮ができるようになり、やりがいにつながっています！

現場で働く
**看護補助者**

未経験から医療の現場へ

## 看護補助者募集中！

患者さんに寄り添い、チームで支える仕事です。看護師と連携しながら療養生活を支えます。

### Q 看護補助者のお仕事内容は？

患者さんの生活や診療を支える
サポート業務です。

・環境整備や物品の準備
・配膳や移動のサポート　など

患者さんを
一番そばで支える、
大切な役割です！

トイレの誘導

### Q 経験や資格がなくてもできる？

未経験でも無資格でも
働くことができます！

・福利厚生が充実　・研修制度あり
・スタッフ間の連携がよく、
　相談しやすい環境です

あなたもぜひ
医療の現場で
働いてみませんか？

シーツ交換

人と関わること、人の役に立つ仕事にやりがいを感じる方へ。私たちと一緒に、医療の現場で働いてみませんか？

看護補助者
募集ページ

体質と向き合う・暮らしに寄り添う

漢方薬の処方や鍼灸治療を通し、体質や生活背景まで含めて診る漢方医療。墨田漢方研究所では、一人ひとりの体調や暮らしに寄り添った診療を行っています。

CLOSE-UP

# ととのえる空間 漢方診療

## 五感で感じる診療空間

墨田漢方研究所は、「五感をシミュレートする」をコンセプトに診療空間がデザインされており、柔らかな照明や曲線を生かした家具、生薬の展示など、五感から安心感を得られる空間づくりを行っています。この診療空間は、本学環境デザイン研究室の今泉博子准教授と協力して整えられました。

千葉大学
## 墨田漢方研究所

東京都墨田区文花1-19-1 千葉大学
墨田サテライトキャンパス3F
TEL：03-5655-5615

詳しくはホームページを
ご確認ください

診療時間

| | |
|---|---|
| 火・水・金 | 9:00～12:00 / 13:30～17:00 |
| 土 | 9:00～14:00（漢方薬のみ） |
| 第4木 | 10:00～13:00（鍼灸のみ） |
| 休診 | 月・日・祝 |

墨田漢方研究所 所長
勝野 達郎 准教授

診察を丁寧に行うため、漢方薬治療・鍼灸施術ともに完全予約制です

漢方の診察では、症状だけでなく体質や生活背景も含めて体の状態を診ていきます。問診に加え、舌の状態やお腹の様子などを総合的に確認し、一人ひとりに合った治療につなげています。

2024年の全国調査では約87%の医師が日常診療で漢方薬を処方していることが報告されています。

## 診察

### 舌の情報を数値化する「TIAS（ティアス）」

患者さんの舌を撮影し、色や形の特徴を数値として解析する機器です。
体の状態や体質の把握に役立つほか、
治療前後の変化の確認にも活用しています。
千葉大学が開発した機器で、現在墨田漢方研究所で
臨床研究が進められています。

## 調剤

漢方薬は、体質や症状に合わせて選択されます。
墨田漢方研究所では医師と薬剤師が連携し、
生薬を調合して作る「煎じ薬」にも対応しています。
煎じ薬は体質に合わせて細かな加減ができるのが特徴です。

お灸は香りも治療の一部ですが、香りが苦手な方には電子のお灸を使うこともあります。

## 鍼灸

鍼灸治療では、全身にある「ツボ」を選び、
鍼やお灸で刺激を与え、心と体の働きを整えます。
鍼は髪の毛ほどの細さで痛みはほとんど感じなく、
お灸は温かい刺激ともぐさの香りで血流を促し、
冷えや体の不調の改善を図ります。

## なんでもQ&A

# 「季節の変わり目とメンタルの不調」

メンタルの不調も早期発見・早期治療が大切になります。もしメンタルの不調に気づいたら、早めに受診しましょう。

精神神経科
竹内 啓善 科長

**春は新しい出会いや環境の変化が多い季節。しかし、その変化が気づかないうちに心の負担になっていることもあります。**

### 五月病などと言われることもありますが、春から初夏にかけて心の不調を訴える人は増えるのでしょうか？

環境の変化は非常に大きなストレスになります。特に日本では4月が年度変わりで、進学や就職、引っ越しなど、大きな変化があります。5月の連休まで無理をして頑張りすぎてしまい、休みで緊張の糸が解けたタイミングで、気分が落ち込んでしまい、うつっぽくなる方がいらっしゃいます。

### メンタルの不調を医学的にいうとどんな状態ですか？

3段階で考えるとわかりやすいです。

**1 心因反応**
明確な原因（仕事、人間関係など）があり、気分の落ち込みや不安、やる気のなさを感じている、病気の手前の状態。

**2 適応反応症**
明確な原因があり、気分の落ち込みや不安、やる気のなさが続いているが、原因を除いたり離れたりすると良くなる状態。

**3 うつ病**
原因の有無にかかわらず、ほぼ一日中・ほぼ毎日、気分の落ち込みや不安、やる気のなさが2週間以上続く状態。

### 季節や環境の変化でメンタル不調になりやすい人の特徴はありますか？

真面目で几帳面、責任感が強くて頑張りすぎてしまう人の方が、自分一人で抱え込んでしまいやすい傾向はあります。逆に、おおらかで、物事をあまり気にしないタイプの方が、不調にはなりにくいかもしれません。

### 本人や周囲が気づきやすいポイントは？

- □ 休んでも疲れがとれない
- □ オフの時間や休日も、ずっと仕事のことを考えてしまう
- □ 眠りが浅くなり、寝つけなくなったり何度も目が覚めたりする
- □ 食欲が出ない
- □ 仕事中などに、自分でも理由が分からず勝手に涙が出てきてしまう

これらは不調のサインです。

### 受診を検討するタイミングの目安はありますか？

気分の落ち込みや不安感、睡眠や食欲の変化など、これまで感じたことのないような不調が2週間ほど続くようであれば、一度受診を検討しても良いタイミングだと思います。

### メンタルの不調を防ぐために、日常生活で気をつけたい習慣は？

- □ 週末の寝だめなどは避け、起きる時間を一定にする
- □ 日光を浴びる
- □ 週数回の運動をする

これらはメンタルに良い影響を与えます。

### 家族や友人が不調そうなとき、どのように声をかけるのが良いですか？

×「がんばれ」「気のせいだ」と励ます
○「いざとなったら頼っていいんだよ」「関心を持って見守っていますよ」と言葉や雰囲気でメッセージを伝える

元気づけるというより、安心感をもってもらえるよう、心がけてください。

### 先生からのワンポイント・アドバイスをお願いします

○**「モヤモヤしたら、ノートに書きなぐってみよう！」**

頭の中だけで考えていると、思考がループして建設的な方向に行きにくいのですが、紙に書きなぐることで、自分の感情を発散することができます。書くことで整理され、問題のポイントや解決策が見えてくることが多いため、患者さんにもおすすめしています。

**Q.**
**5月12日は「看護の日」これは誰の誕生日？**

❶ マリー・キュリー（キュリー夫人）
❷ フローレンス・ナイチンゲール
❸ マザー・テレサ

**答えは❷です。** 5月12日は、近代看護の基礎を築いたナイチンゲールの誕生日にちなんで制定されています。日本では「看護の日」、国際的にも「国際看護師の日」として知られています。この日は、看護の大切さや役割を多くの人に知ってもらうことを目的に設けられました。なお、①のマリー・キュリーは放射線研究でノーベル賞を2回受賞した科学者で、③のマザー・テレサは貧しい人々の支援活動で知られる人物です。

## いのはなINFORMATION

### 01 iPS-NKT細胞を使ったがん免疫治療
**臨床試験で安全性などを世界で初めて確認**

当院と理化学研究所は、iPS細胞から作製した、がんに対して強い攻撃力を持つ免疫細胞である「iPS-NKT細胞」を、頭頸部がん患者さんの腫瘍血管内に直接投与する治療法を臨床試験で実施し、その安全性などを確認しました。この研究成果が、2025年12月に国際科学誌『Nature Communications』に掲載され、1月16日に文部科学省で記者会見を行いました。

記者会見を行う耳鼻咽喉・頭頸部外科 飯沼智久医師（左）と免疫細胞医学 本橋新一郎教授

### 02

**千葉県地域連携の会を開催 200名以上の県内医療関係者が参加**

2月3日、県内における地域医療連携を強化し、連携体制を確立することを目的に「第19回千葉県地域連携の会」を開催しました。シンポジウムでは、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）をテーマに、認知症や在宅医療の視点から、地域医療の現状や今後のあり方について活発な検討が行われました。

### 03

**防音室設置記念演奏会を開催 173名が美しい音色に魅了**

3月3日、入院病棟に防音室を設置したことを記念して、ご寄附をいただいたM for M様と当院の共催で、大学の医療従事者・教職員・学生向けの演奏会を行いました。会場にはヴァイオリンやチェロなどの美しい音色が響き渡り、参加者は心温まるひとときを過ごしました。

### 04

高血圧でお困りの方は、「腎デナベーション」施行の有無にかかわらず、当院への紹介・受診をご検討ください。

循環器内科 齋藤佑一医師

**循環器内科で高血圧に対する新治療「腎デナベーション」を開始**

「腎デナベーション」は血管内からカテーテルを用いて腎臓周辺の交感神経機能を低下させることで血圧を下げる新しい治療法です。3月に保険適用となり、当院では4月から開始しました。3種類以上の降圧薬を使用しても血圧が高い患者さんの、治療の選択肢になるもので、多くの方が対象になる可能性があります。

### 05

**小中高生25名が病院見学に来院 医療の現場を学びました**

4月3日、脳卒中・心臓病等総合支援センターは、小中高生を対象とした病院見学会を行いました。院内や手術室、救急車両「ECMOカー」の見学、病院食の体験などを通して医療の現場に触れた参加者は「医療の仕事がかっこいいと思った」「病院食がおいしかった」などと語りました。